

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ダイニテック本社工場新築工	階数	地上2F
建設地	大阪府八尾市北木の本1丁目	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2021年1月8日
敷地面積	7,019 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社井光憲
建築面積	3,226 m ²	確認日	2021年1月8日
延床面積	3,404 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社井光憲



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 節水型便器を使用している	その他 0
Q1 室内環境	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 館内禁煙	Q2 サービス性能 執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース
Q3 室外環境(敷地内)		出来る限りの緑化をしている
LR1 エネルギー	BPI _m = 0.69	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を使用している
		LR3 敷地外環境 適切な量の駐車スペースの確保

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0130

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	株式会社ダイニテック本社工場新築工事					
		建設地	大阪府八尾市北木の本1丁目					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B+		
①	CO2削減	★★★★★			3			
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			2			
③	建物の断熱性	★★★★★			5			
④	エネルギー削減	★★★★★			3			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.2	3	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								